

羽村市議会議員

鈴木たくや 議会/活動報告 No. 3

2008. 1. 15

日本共産党

# すずたくだより



事務所 富士見平1-4-1 松沢コーポ101

電話080-1058-9450 FAX 555-1217

ブログ suzaku@blog.ocn.ne.jp メール suzaku@ab.cyberhome.ne.jp

12月議会

## 子ども一人一人を大切にしたい 教育条件の充実を



●みなさんこんにちは。共産党の鈴木たくやです。寒いが続きます。いかがお過ごしでしょうか。

今回は、12月議会での質問などを中心に、この間の活動についてお伝えします。

●12月議会の一般質問では4項目について質問しました（詳細は中面に）。そこでもとりあげた「教育条件の充実」。いじめ・不登校、学力の問題、障害をもつ子どもへの支援など、さまざまな教育の課題が山積みになっている今、いち早くすすめる必要があります。

●国では来年度に教員を千人増やす方針をうちだしました。「子ども一人一人へゆき届いた教育を」と願う国民の声に押されてのことでしょう。しかし、これではまだまだ必要な教職員の数に足りない、との声を聞きます。

●昨年10月に参加した教職員組合との情報交換会では「ゆきとどいた教育をすすめるため、1クラスの子どもの人数を減らして抜本的な教育条件の底上げが必要」と多くの先生

が実感していることをお聞きしました。

●日本は先進国の中で最も1クラスの人数が多い国です。東京では40人です。ヨーロッパでは多くても30人程度。横田基地内の学校では1クラス18人程度であると聞きます。ここから目をそらしては学校を豊かな学びの場とすることはできません。

●私が住むマンションの前を毎日子ども達が元気に駆けていきます。次代をになうこの子どもたちが豊かに学び、成長できるよう、教育条件の整備に力尽くします。そのためにも予算の使い方をきりかえるよう主張しつづけます。

### 高齢者住宅ボナールの夜間照明 なりました

富士見平にある市の高齢者住宅の「夜間照明が  
ついていない」とご連絡いただきました。さっ  
そく市と管理してい  
る不動産屋さんへ連  
絡をとり、改善して  
いただきました。



## 12月議会 一般質問

# 論戦ハイライト

12月6日の一般質問では、4項目の質問をおこないました。少人数学級、ダイオキシン調査、ハローワーク窓口、横田基地とテーマは多岐にわたりました。、もち時間の1時間、めいっぱい質問をしました。質疑の概要をお伝えします。

### 【質問①】小中学校での少人数学級実現にむけて、市独自の努力を

●東京都以外のすべての県では、クラスの人数を少なくして子ども一人一人にきめこまやかな指導をおこなう「少人数学級」が始められています。それらの県からは「学級が落ち着き、明るくのびのびした」、「学力の底上げ、定着がすすむ」などの効果が報告されています。

●私は羽村でもいち早く少人数学級を実現し、どの子も持てる力を存分に伸ばせ、楽しい学校をつくるべきだと、質問しました。

●教育長は少人数学級のメリットを認め、教育長会が国や都にたいして要望をおこなっていることを明らかにしました。私はさらに市が少人数学級の実現にむけて努力すること、学習サポーターを増員することを求めました。

**鈴木** 学校生活で一番の基盤になる学級の人数を減らして、条件を引き上げることが必要でないか。そういう認識はお持ちでしょうか。

**教育長** 鈴木議員のおっしゃるところも理解できるところです。

都市教育長会の中でも、今年、未満という言葉をはじめて言ったんですよ。「40人未満の学級の学級」と。そういう方向でやりなさい、ということ都市教育長会等の中でも強く要望を出しております。



### 【質問②】ダイオキシンなどの環境調査の充実を

●西多摩衛生組合が年2回おこなっている環境調査。昨年6月の周辺大気のだいおきしん類調査（羽村3中、松林小、あさひ公園、瑞穂むさしの会館、瑞穂4小）では、大きく値が増えました。

●昨年4月から小金井市のごみ焼却が始まり、市民の疑問や不安があるもと、せめて環境調査を充実して、環境がどうなっているのかを正確につかむことが必要ではないかと質問をおこな

いました。

●しかし市は、値の上昇は微々たるものであり、調査を増やす考えはない、との答弁に終始しました。

**鈴木** 今回6月の西多摩衛生組合による大気調査の結果は、決して見過ごすことはできない。まず、羽村市がおこなっている環境調査を充実し、市内の環境がどうなっているのかをよくつかむこ

とが必要だと考えますが、いかがでしょうか。

**市長** 西多摩衛生組合で実施したら地点調査結果も、市が8月に実施した調査でも、環境基準

を大きく下回っていることなどから、調査地点や頻度を増やす考えはありません。

### 【質問③】ハローワーク求人情報・相談窓口の開設を

●団塊の世代の大量退職、ニート・フリーター対策、障がい者の就労支援など、雇用に関する課題が山積しています。

●西多摩では、東青梅のハローワーク以外にも瑞穂町、あきる野市にハローワークの窓口が設けられています。

●私は、羽村市内にもハローワークの窓口を設置し、商工会や福祉関係者とのネットワークを

つくりながら、総合的な雇用対策をおこなうべきではないかと質問しました。

●市はハローワークへ非公式に窓口開設を打診したことがあることを明らかにしました。しかし、窓口設置はおこなわず、ハローワーク青梅と連携して雇用対策をおこなっていくと答弁しました。

### 【質問④】米軍再編の中、横田基地について問う

●米軍基地を再編し、基地機能の強化をはかる「米軍再編」。横田基地には、これまでの部隊にくわえ、「ケニー司令部ジャパン」というテロとの戦いを任務にした新たな部隊が設置されました。また、自衛隊との連携も強められています。

●私は、これらの動きは基地被害を増し、基地の強化・固定化につながることを指摘しました。そして、市が情報を市民に発信しながら、市民とともに米軍再編の動きに反対していくことを求めました。しかし市は「防衛は国の専管事項」との立場に終始しました。

**鈴木** さきほど市長は「国のことですから、なかなか自治体の市長が」というお話をされましたが、やはりそれでは横田基地を縮小・撤去していく方向には向かって

いけない。市長の責任が果たされていないんじゃないかと感じるんですが、いかがですか。

**市** さきほども申しましたように、基本的には、国防に関するものは国の専管事項であります。一自治体の市長がそれに見解を述べたりすることではない事項だと考えております。



質問を終えて

今回強く感じたことは、市政は、国や都にたいしてきちんとモノを言っていけないと、市民の暮らしを守る役割が果たせない、ということです。少人数学級の実現でも、横田基地の問題でも、「現場の目線」で国や都に声をあげる、市独自でも頑張る。そうしなければ、事態を前向きに変えることはできません。議員の役割も重要です。これからもねばり強く頑張っていきます。



## 75歳以上の 新医療制度

# 後期高齢者医療制度

—保険料が決まる。健康診断はひきつづき無料に

●75歳以上の人全員を対象に来年4月から始まる予定の「後期高齢者医療制度」。

●保険料が高すぎるなど、さまざまな問題をもつこの制度。日本共産党は4月からの実施中止をもとめて運動をおこなっています。

また、高すぎる保険料の引き下げ、無料健康診断の継続などを求める運動にもとりくんできました。

●12月議会で、保険料が決定されたことが明らかになり、これまでと比べ、大きく値上げとなることがわかりました。

●また、健康診断は、ひきつづき無料とする方向で検討されていることが明らかになりました。

●誰もが必要な医療を受けられる制度となるよう、ひきつづき運動を広げていきます。

## こうなる保険料

(国保料との比較)

### ■単身 年金79万円の場合

9,600円→11,300円

### ■単身 年金208万円の場合

51,700円→73,800円

### ■夫婦 夫：年金250万円・ 妻：年金200万の場合

11,9200円→170,000円

※金額はいずれも年額です

**さらに声あげ中止に追い込むため頑張ります**

## 保育料値上げにならないように



市は保育料の値上げを検討することを明らかにしていました。私は、9月議会で値上げしないよう質問していましたが、今年4月からの値上げは見送られることになりそうです。ただし、税制の変更による保育料表の改定はおこなわれる予定で、値上げとまらないよう市に申し入れをおこないました。(11/7)

## 国保税の値上げはストップを

市民の暮らしが大変なもと、国保税の値上げをおこなわないよう市へ申し入れをおこないました。また、健康診断は制度が変わる4月以降も、これまで通り無料でおこなうよう要望しました。(11/20)



## 市民アンケートにとりくんでいます

日本共産党市議団がおこなっている市民アンケートに、多くの市民の方からご協力いただいています。近々結果をまとめて対市交渉をおこなう予定です。一つ一つの実現にむけてかたくしていきます。